



留学だより NO.12



こんにちは。AFS66 期生でポルトガルに留学中の大倉です。

帰国まで4カ月を切りました。

新型コロナウイルスの影響が広がっていますね。日本では全国の学校が休校になったそうですね。

ついにポルトガルでも感染者が出ました。ヨーロッパではイタリア、フランス、スペイン、ドイツが多いようです。イタリア、スペイン、フランスなどで急速に広まっているのはハグやキスの文化があるからなのかなと思いました。ポルトガルで感染者が出てからは家族間でキスをしなくなりました。こういう時は健康が一番大事ですね。また、ニュースを見ると必ず新型コロナウイルスについて取り上げられています。そのニュースを見てふと思ったことがあります。例えば、イタリアで感染者が増えたというニュースの時に映し出される映像には必ずといっていいほどマスクをしたアジア系の人映っています。たまたまカメラを構えたらほぼ毎回アジア系の人を通りかかるのかもしれませんが、少し違和感を覚えました。

今回の留学だよりではカーニバル（謝肉祭）について書きます。

<カーニバル(謝肉祭)>

先日、カーニバルのため三日間の休日がありました。月・火・水と休みだったので五連休ゆっくりすることが出来ました。

そもそもカーニバルはイースターの前の40日ほどの間はお肉を食べることが禁止されていて、そのつらい日々を迎える前の数日間を思いっきり楽しもうと始まったそうです。

カーニバルといえバリオのカーニバルを想像する人が多いのではないのでしょうか。ポルトガルの伝統的なカーニバルはブラジルの派手な衣装とは異なり、赤色、黄色、緑色で覆われた服やマスクに身を包んでいます。でも、最近は伝統的なカーニバルを見ることができる場所は限られていて、私の住む場所の近くではブラジル式のカーニバルしかやっていませんでした。学校の先生に聞いたのですが、植民地時代にポルトガルからブラジルに持ち込まれ、独自の進化を遂げたそうです。ブラジル式の方が派手で観光客を集めることができるため、ブラジル式のカーニバルが増えたそうです。

カーニバルのようなキリスト教関係の行事に出会うと、自分が日本から遠く離れた場所にいることを実感します。



03. Mar. 2020

11 期生 大倉